

えだまめ推奨品種「一力」「ジャスト75」

園試：野菜花き部

農試：技術部、県南分場、県北分場

1. 来歴

1) 一力

「極早生ふくら」の育成途中において、昭和58年にわい性で太茎、開花の早い個体を見出し、収量性、食味を重点に選抜育成したもので、昭和62年に発表、市販された。

2) ジャスト75

「北海白毛」から早生で大莢のものを選抜育成し、昭和63年に発表、市販された。

2. 特性の概要

1) 品種の特性

- (1) 一力とジャスト75の特性は殆ど同じである（表-1、表-2、表-3）。
- (2) 開花期、収穫期は現推奨品種のなかで最も早いサッポロミドリに比べ、2～3日早い極早生種である（表-1、表-2、表-3）。
- (3) 莖長はサッポロミドリより短い。着莢数はやや少なく、莢の大きさはサッポロミドリより大きい。収量はサッポロミドリ並である（表-2）
- (4) 食味は良好で、サッポロミドリに比べ同等～優れる（表-3）。
- (5) 品質はサッポロミドリ並である（表-3）。

2) 品種の育成元

- (1) 一力：カネコ種苗
- (2) ジャスト75：武蔵野種苗園

3. 推奨品種に採用したい理由

えだまめは、岩手野菜の重点品目として生産振興が図られ、急速に作付けが拡大している。

本県のえだまめは、品質向上と長期継続出荷が課題で、早出しのための早生、良質品種の要望が強い。

そこで、サッポロミドリに比べ収穫期の早い品種を検討した結果、「一力」、「ジャスト75」が有望と認められたので、推奨品種として採用したい。

4. 適応地域

- 1) 県下全域（ヤマセ地帯を除く）
- 2) 作型：サッポロミドリと同じ
- 3) 普及見込み面積：150ha

5. 栽培上の留意点

- 1) 極早生種で、莖長が短く、着莢数が不足しやすいことから、堆厩肥は必ず施用し、化学肥料も基準量施し、マルチ栽培を行い生育量を確保する。

表-1 生育調査 (昭63)

品 種	開花 期 (月日)	収穫 期 (月日)	莖長 (cm)	分枝 数 (本)	稔実 莢数 (莢/株)	平均 一莢 粒数 (粒)	倒 伏	1 莢内粒数比率(%)		
								1 粒	2 粒	3~ 4 粒
(票) サッポロミドリ	7.4	8.8	32.7	3.5	30.3	2.38	無	11.6	39.3	49.2
一 力	7.2	8.4	22.9	3.1	27.6	2.32	"	14.1	39.9	46.1
ジャスト 75	7.2	8.4	23.9	3.4	28.4	2.25	"	17.3	41.5	41.2

表-2 収量調査 (昭63)

品 種	10a 当り収量 (kg)				有効莢 重歩合 (%)	屑莢重 (kg/10a)	有 効 百莢重 (g)
	全 重	稔 実 莢 数	有 効 莢 数	同左比 (%)			
(票) サッポロミドリ	2,315	931	875	100	94.0	97	306
一 力	1,941	911	838	96	92.0	37	332
ジャスト 75	2,048	945	854	98	90.4	48	341

表-3 品質および評価

品 種	毛茸色	莢色	糖 含 量 (%)	食 味	品質	評 価
(票) サッポロミドリ	白	緑	1.96	○	中上	◎~○
一 力	"	"	2.56	◎	中上	◎
ジャスト 75	"	"	3.07	◎	中上	◎
グリーン 75	"	淡緑		△	中中	△
奥原早生	"	緑~淡緑		○	中下	△

注) 食味: ◎勝る ○やや勝る △やや劣る
 評価: ◎有望 ○やや有望 △やや劣る

表-1~3の試験は、は種期5月13日、うね幅125cm、株間15cm、マルチ直播9215、
 Bフィルム1本仕立、10a当り栽培本数10,667、施肥量(10a当り)厩肥2,500kg、
 N4.8kg、P₂O₅20kg、K₂O9.6kg